

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007  
FAX03-3261-5453

2016年10月26日（水）

第681号 本号3分

## 戦争法廃止！自衛隊を南スーダンに送るな！

—全国で19日行動 国会前には6000人—

戦争法強行採決から1年1月目の10月19日、全国各地で戦争法廃止と南スーダンへの自衛隊派遣に反対する行動が行われました。

国会前では、総がかり行動実行委員会が衆院第2議員会館前を中心に開催し、6000人が参加しました。主催者あいさつした高田健さんは、新潟知事選挙の結果にふれて、「市民と4野党が事実上の結束ができたことで勝利につながった」と指摘し、衆院補選でも同様の共闘が必要だと強調し、「私たちはあきらめない。市民と野党の共同をより固くするために行動しよう」と呼びかけました。

各野党の国会議員が駆け付け、民進党の近藤昭一衆院議員、日本共産党の穀田恵二衆院議員、社民党の福島瑞穂参院議員、参院会派「沖縄の風」の糸数恵子参院議員が各党派を代表して連帯のあいさつを行いました。

その後、市民団体や労働組合の代表、弁護士らが、南スーダンへの派遣の危険性、沖縄・高江でのヘリパッド建設強行反対、労働法制の改悪、TPPの批准反対など、「安倍政権の暴走を絶対に許さない」と訴えました。

参加者は集会途中、何度も「自衛隊を戦地に送るな」「今すぐ撤退」「駆けつけ警護反対」「戦争法今すぐ廃止」等とコールしました。

議員会館前には開始30分前頃から多くの参加者が集まりました。

中には、手書きの「戦争法廃止」「安倍、今すぐやめろ」等と書かれたプラカードを持った方も多数いました。埼玉から参加した男性は、「いや、今日はよく集まったね。南スーダンは危ない。戦争法の具体化はやめさせたい」と語っていました。



### 関東各県で行動

#### 山梨 180人で甲府市内で集会とパレード

「戦争をさせない9条を壊すな！山梨行動実行委員会」は19日、JR甲府駅前では集会とパレードを行い、180人が参加しました。

集会では日本共産党の小越智子県議、民進党の田中甲子男県連副代表、社民党の山田厚県連代表ら各野党の代表が参加。小越県議は「新潟県知事選では、原発やTPPなど国の悪政に地方からノーの声をあげた。戦争法に基づく南スーダンでの自衛隊の任務拡大を許さず、衆院選でも野党と市民が力を合わせて私たちの代表を送ろう」と訴えました。民進党の宮沢由香参院議員がメッセージを寄せました。

リレートークでは、自治労の代表は「祖母が甲府空襲を体験した。あの戦争の時代に戻さないために安倍政権にノーを突き付けたい」と、医労連の代表は「制度改悪で医療と介護は限界。軍事費を削って司会保障の充実を」などの訴えがありました。集会に参加した伊藤みちるさんは「親に誘われて参加したきっかけ。自分の生活の近くで参加できる場があるのはありがたい。こうした活動が状況を前向きに動かしてきたと実感している」と話しました。

## 千葉 「ピース傘ウォーク」のスタンディング

千葉県山武郡市の市民団体「戦争はいやだ山武地域の会」は19日、柴山駅の「道の駅」前で、18回目の「ピース傘ウォーク」のスタンディングを行いました。雨傘に一文字ずつ「戦争はいやだ」と書いて、沿道に並んでアピールしました。同地域の会は、「戦争は許さない」の一点で思想・信条の違いを超えて、ほぼ毎月、6市町内で「ピース傘ウォーク」のスタンディングを行っています。

スタンディングでは参加者が次々とマイクを握り、「南スーダンPKOで駆け付け警護の新任務を与えられた自衛隊が殺し殺されることになりかねません」「成田空港は開港時に軍事利用は認めないという『取極書』を交わしたにもかかわらずイラク戦争時に軍事物資の輸送に使われました。戦争法で軍事利用は避けられません」と訴えました。

行き交う車のドライバーがクッションを鳴らし激励するなど、注目を集めました。

## 茨城 水戸駅前で「茨城県民共同アクション」を開催！

JR水戸駅南口で19日、「戦争法の廃止を求める茨城県民連絡会」の「茨城県民共同アクション リレートーク@水戸駅南口」と銘打った集会が開催されました。参加者は横断幕やゼッケンで、戦争法の廃止や憲法改悪反対、原発の再稼働ストップなどをアピールしました。



県民連絡会の田中重博代表が主催者あいさつし、戦争法廃止と沖縄への新基地建設阻止を呼びかけました。

リレートークでは、労組や平和・民主団体、日本共産党の代表らがマイクを握り、「国を守るためには血を流せ」などの過激な言動を繰り返している稲田防衛相を批判したり、原発再稼働の是非が最大の争点となった新潟県知事選の結果にふれて「来年の茨城県知事選でも原発反対の知事を誕生させよう」と訴えたりしました。また「次の選挙では野党と市民が力を合わせて頑張ろう」と呼びかける人もいました。

## 群馬 前橋市で50人が参加し、昼デモ！

群馬県憲法共同センターは19日、前橋市で「憲法違反の戦争法は廃止 自衛隊は南スーダンから撤退」を掲げた昼デモを50人の参加で行いました。

出発前に、主催者あいさつに立った県労働組合会議の真砂貞夫副議長は、実質内乱状態の南スーダンへの自衛隊のPKO参加について「戦争法という憲法違反の法律を裏付けとした派遣は絶対に許されない」と訴えました。

大塚・谷田法律事務所の大塚一恭事務職員が連帯あいさつ。県内の戦争法違反訴訟について、前橋空襲体験者ら原告がこれまでに147人集まっていることや、11月19日に違憲訴訟の説明会を開くことを報告しました。

参加者は「南スーダンに自衛隊を送るな」「平和外交で国際貢献！」などと唱和しながら行進しました。

## “自衛隊員の命は自分のもの、首相の錯覚は許されない！” 「平和安全法制によって新しい任務が与えられる 肝に銘じよ！」 安倍首相 自衛隊観閲で訓示

自衛隊観閲式が23日、陸上自衛隊朝霞駐屯地の朝霞訓練場（埼玉県朝霞市、新座市）で行われました。観閲式は、陸海空の各自衛隊が毎年持ち回りで開催されています。今年は隊員約4000人、戦車など車両約280両、航空機約50機が参加し、米軍の新型輸送機オスプレイも祝賀飛行を行いました。

そのなかで、安倍首相は訓示を行い、安全保障関連法に関し、「平和安全法制によって諸君たちには新しい任務が与えられることになる。尊い平和を守り抜き、次の世代へと引き渡していくため

の任務だ。そのことを肝に銘じ、平和の守り神として精強な自衛隊をつくりあげてほしい」と述べ、昨年強行成立させた戦争法に基づく新任務の付与に向け、備えに万全を期すよう指示しました。

安倍政権は11月にも南スーダンの国連平和維持活動（PKO）に派遣する陸上自衛隊に、「駆けつけ警護」などの新任務を付与するかどうか検討しています。首相は南スーダンPKOの自衛隊部隊については「危険の伴う自衛隊員にしかできない責務を果たしている」と賛辞。新任務に伴うリスクを示唆しました。また南スーダンの情勢について「道路整備に励む自衛隊員の周りには決まって子どもが集まる」などと述べただけで、内戦状態の実態については語りませんでした。そして、「今後も積極的平和主義の旗を高く掲げ、国際的な舞台で活躍してもらいたい」と語りました。



## **米海兵隊MV22 オスプレイも参加の自衛隊観閲式に抗議**

陸上自衛隊朝霞駐屯地で行われた自衛隊観閲式に反対する集会在23日、朝霞中央公園で開催され、350人が参加しました。参加者は、「自衛隊の海外派兵を許すな」「自衛隊員の命を守ろう」等と声を上げながら、市街地や基地入口に設置されている自衛隊広報センター前をデモ行進しました。

小野輝雄実行委員長は、観閲式では米海兵隊MV22 オスプレイも「祝賀飛行」しているとして「きわめて危険で、安全を無視した式典です。これを許さない声をあげよう」と訴えました。

日本共産党の塩川鉄也衆院議員、前原かつえ県議らが参加。塩川氏は、朝霞駐屯地には、陸上自衛隊の戦闘部隊の第一司令部である「陸上総合司令部」が創設されようとしているとして「自衛隊と米軍の連携を強化し、自衛隊の海外派兵のための専門部隊も置かれる。殺し殺される自衛隊にしないために、大きな世論と運動を広げていこう」と呼びかけました。

## **「駆けつけ警護」等の新任務の訓練を公開！**

南スーダンのPKOに派遣する予定の陸上自衛隊第9師団の陸自岩手山演習場（岩手県滝沢市など）で行われている新任務訓練が、24日、報道陣に公開されました。訓練は、国連職員や民間人らが武装集団などに襲われた場合に救援に行く「駆けつけ警護」と、宿営地を他国軍と共同で警護する「宿泊地の共同防護」の二つの新任務について行われました。



両訓練とも小銃などの武器を装備していたものの、実際には使用する場面は「手の内が明らかになる」との理由から完全非公開でした。

前日の23日に視察した稲田防衛相は、記者団に「非常にスムーズにしっかり訓練がなされている様子だった。訓練の習熟度と、南スーダンの治安情勢を総合的に判断して、新任務を付与するか決めていく」と語りました。

## **憲法公布70年 秋の憲法集会**

日時) 11月3日 午後2時～

場所) 在日韓国YMCA アジア青少年センター

講演) 栗田禎子 千葉大学教授 「混迷する南スーダン情勢と自衛隊の派兵」

石川健治さん 東京大学教授 「立憲主義の破壊と『戦後』の終わり」(仮題)

◇野党各党あいさつ

◇動画上映 「沖縄のたたかい」 主催 解釈で憲法9条を壊すな!実行委員会